



昭和100年イベント

戦争の記憶継承 朗読劇 「真昼の夕焼け」

～15歳の少年が体験した横浜大空襲の実話をもとにした朗読劇です～



《横浜夢座》

昭和100年を迎える今年、昭和の時代に経験した先の大戦の記憶を次の世代に継承していく取組の一環として、横浜大空襲の実話をもとにした朗読劇を開催します。公演後は、俳優・五大路子氏の「神奈川県戦争の記憶継承大使」就任を記念し、戦争の記憶継承などをテーマとして、五大氏と神奈川県知事による対談を行います。

日時

令和8年10月4日(日)

14時00分～15時30分 ※13時開場

場所

横浜市開港記念会館 講堂

※施設に駐車場・駐輪場はありません。
来場の際は公共交通機関をご利用ください。

定員

200名

観覧対象

小学校高学年以上

応募締切

令和8年9月7日(月)

申込方法

電子申請システムより、必要項目をご入力ください。
お一人につき2名までのお申込みが可能です。

神奈川県戦争の記憶継承事業

検索

神奈川県
戦争の記憶継承大使
俳優 五大路子

観覧
無料

事前
申込制

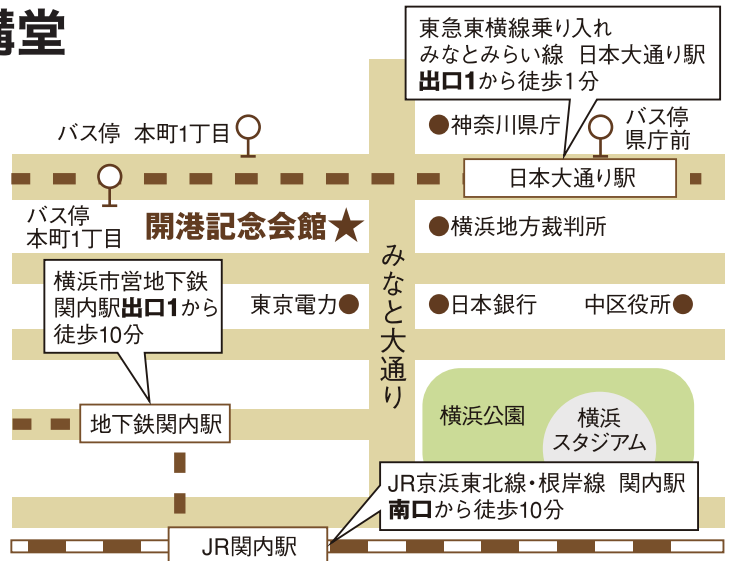


●主催:神奈川県 ●共催:神奈川新聞社

戦争の記憶継承事業 朗読劇 「真昼の夕焼け」

会場案内 横浜市開港記念会館 講堂

横浜市中区本町1丁目6番地



※施設に駐車場・駐輪場はありません。来場の際は公共交通機関をご利用ください。

プログラム

プログラム、出演者、対談内容は予告なく変更する場合がありますのでご了承ください。

14:00~14:05	主催者あいさつ
14:05~14:50	朗読劇 「真昼の夕焼け」(約45分) 横浜夢座 企画: 五大路子 原作: 筧 槇二 演出: 高橋和久 出演: 五大路子 / 高井清史 / 高橋和久 / 春山 椋 / 大和田悠太
14:50~15:05	休憩
15:05~15:30	対談 神奈川県戦争の記憶継承大使 五大路子氏 × 神奈川県知事 黒岩祐治氏

朗読劇「真昼の夕焼け」あらすじ

「このふるさとに、かつて何があったのかー」
主人公の健二が家へ帰る途中、
東神奈川駅付近で横浜大空襲に遭う。
皆、我を忘れ、逃げ回るのに必死だった。
健二は偶然そばにいた少女と一緒に、
荒れ果てた道を逃げるのであった。
大空襲が、街に、人に残すものとは一。
そして、まだ昼間ははずの空の色は…。

五大路子 プロフィール

俳優。NHK朝ドラ「いちばん星」でデビュー。以降、舞台TV多数出演。1996年から舞台「横浜ローザ」を演じる。1999年に自身が座長を務める『横浜夢座』を旗揚げし神奈川・横浜から演劇を発信し続けている。2024年に舞台生活50周年を迎えた。「神奈川文化賞」「地域文化功労者表彰」等受賞。映画「ヨコハマメリー」出演。著書「Rosa」等。

昭和100年パネル展～戦争の悲惨さや労苦、人々の暮らし等を振り返る～

昭和元年(1926年)から起算して満100年を迎える令和8年(2026年)に、昭和100年事業として8月14日(金)~20日(木)に、かながわ平和祈念館(京浜急行・横浜市営地下鉄「上大岡駅」徒歩約8分)においてパネル展を開催します。

詳しくはこちら

入場
無料

事前
申込み
不要

